占冠村

戸塚　明宏

1.　地名の由来

豊かな自然と共存する里である占冠(しむかっぷ)は、アイヌ語の“シモカプ”から名付けられ、「非常に静かで平和な上流の場所」という意味がある。占冠村は豊かで広大に広がる自然の中にある静かな山村である。

2.　歴史

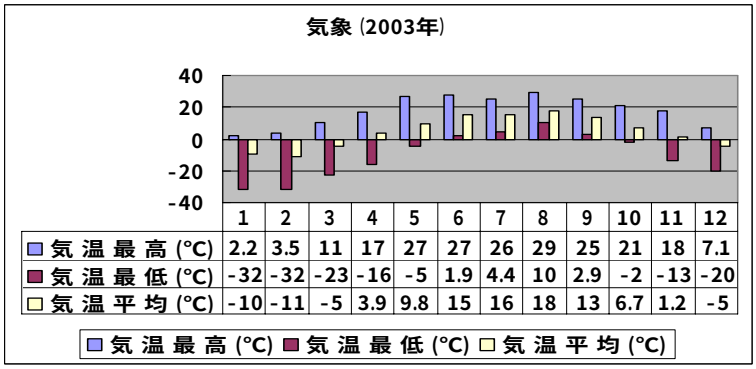
かつては農林業、酪農を基幹産業とする山あいの小さな村だった。 1981 年に村を東西に横断する石勝線が開通、 占冠駅、トマム駅（旧石勝高原駅）二駅に特急が停車するようになった。 その後鉄道交通の利便性の良さからトマムはリゾート地として開発された。

3.　地理・気候

3.1　気候

表 1、2 から分かるように、占冠村では 3 月から徐々に気温が上昇し、8 月にピークを迎える。5 月から 9 月にかけて特に激しい気温の変化はみられない。9 月から気温が徐々に下がり始め、12 月になると気温がいきなり 10℃以上低下する。1・2 月に最も気温が低下する。12 月から 2 月の占冠は厳しい寒さが続く。また占冠では 11 月に初雪を観測する。積雪量は 1 月から 3 月にかけて増え、3 月が最も多い。冬の占冠の生活は寒さとの戦いであろう。また露がない北海道であるが、8 月の降水量は他の月に比べて著しく高い。これも占冠村の特徴といえるだろう。

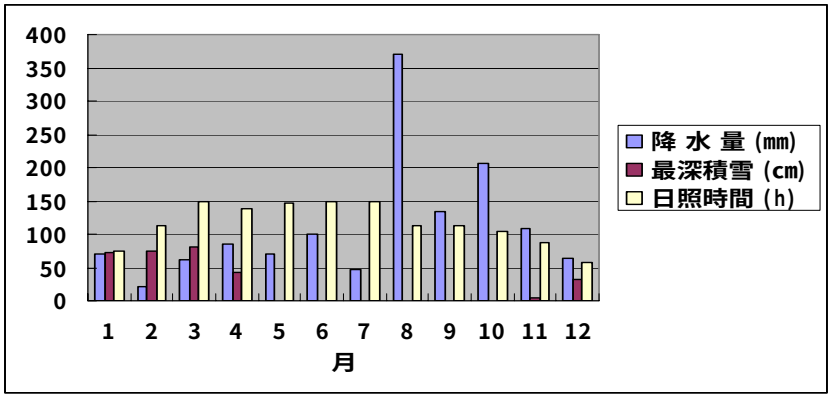
グラフ 1　占冠村の気温



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温最高 (℃)	2.2	3.5	11	17	27	27	26	29	25	21	18	7.1
気温最低 (℃)	-32	-32	-23	-16	-5	1.9	4.4	10	2.9	-2	-13	-20
気温平均 (℃)	-10	-11	-5	3.9	9.8	15	16	18	13	6.7	1.2	-5

気温最高 (℃)　気温最低 (℃)　気温平均 (℃)

グラフ２　占冠村の降水量・積雪量・日照時間



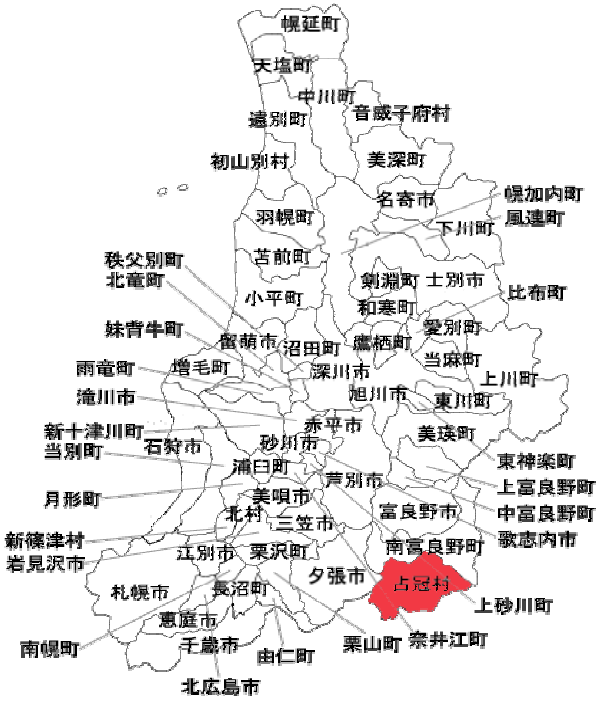
3.2　地理

占冠村の位置は図 1 からも分かるように、千歳と帯広の間に位置する。その地理的状況から鉄道交通が完備されているため、札幌への移動も容易である。自然豊かな占冠村であるが、地理的位置によって鉄道が配備されたこともあり、都会との関わりも容易だ。そして、その都市には空港も整備されていることもあり、道外の主要都市との関わりも比較的簡単である。

また、表 3 からも分かるように占冠は東西に広く広がっている。

図 1　占冠村の位置

出展：占冠村公式 HP



出展：わがマチ・わがムラ～市町村の姿～

表１　占冠村の緯度・経度

方　　位	経　緯　度	距　離
極　　東	東経 142°43’55”	東西
極　　西	東経 142°16’35”	37.2 ㎞
極　　南	北緯 42°52’55”	南北
極　　北	北緯 43° 7’54”	27.7 ㎞

出展：占冠村公式 HP

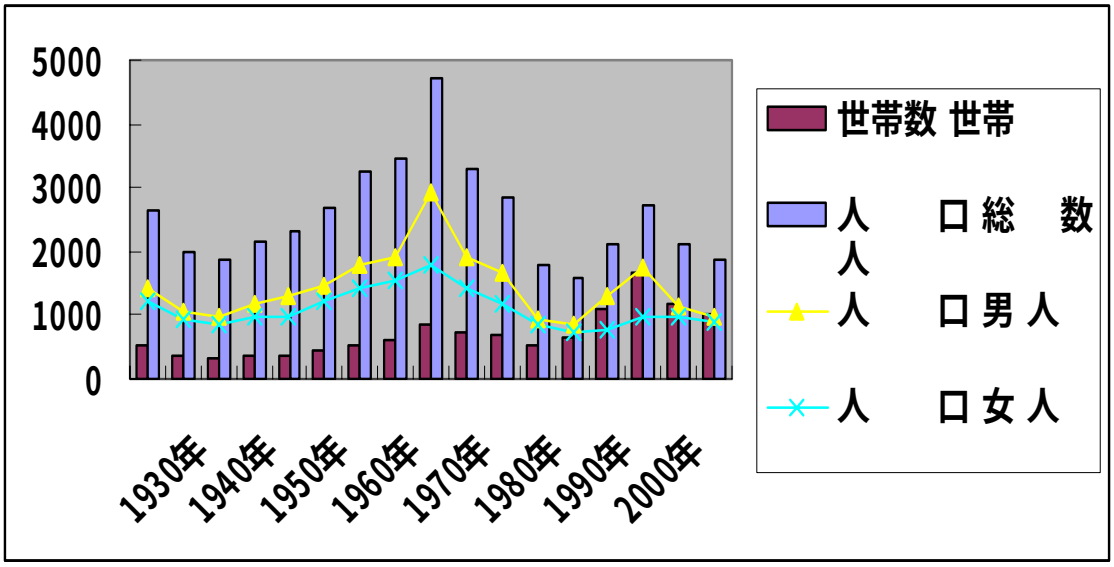
4.　世帯数・人口の推移

村の戸数、人口ともに一番多かったのは、昭和 35 年（1960 年）の 842 世帯、人口 4,705 人である。平成 12 年現在（2000 年）は 818 世帯で、人口 1,685 人となっている。

昭和 35 年（1960 年）夕張市の紅葉山から占冠を通り、新得町を結ぶ鉄道建設の計画ができた。このときから 20 年後の昭和 56 年（1981 年）に、村の人たちが待ちかねた石勝線が開通し、それを境に人口・世帯数が増加した。

しかし村が始まってから長い間、村を支えてきた農家も、今では約 20 戸くらいになり、林業で働く人もどんどん仕事がなくなり、それに伴い人口・世帯数も減少している。

グラフ３　世帯数と人口の推移



5.　産業

メロン

昼夜の寒暖の差が大きいため、甘いメロンができる。食べ頃は７月から９月。

じゃがいも・かぼちゃ・とうもろこし

占冠村に開拓の鍬がおろされてから幾年月。先人達が未開の地を開拓し、ジャガイモなどの雑穀を作り、自らの食料としてきた。美味しく、栄養豊かなこれらの秋の味覚が今も受け継がれ栽培されている。

てんさい（ビート）

上質のグラニュー糖の原料となるのがこのビートである。メロン同様寒暖の差が大きいため、他の地域より糖度が高く品質の良いものが出荷されている。

黒毛和種

北海道内で最も古い肉牛の産地として知られる占冠村の和牛は、全国各地に肥育素牛として出荷されている。日本固有の食用牛である「黒毛和種」は、非常に美味しく、ステーキはもちろん日本の代表的料理である「スキヤキ料理」の高級店でも使用されている。

酪農

四季毎にそして酪農家毎に牛乳の味が異なることをご存じだろうか？それは、気温や環境、酪農家が与える飼料の違いによるものである。占冠村の大いなる大地で育まれたミネラル十分の牛乳が毎日村外へ出荷されている。

林業

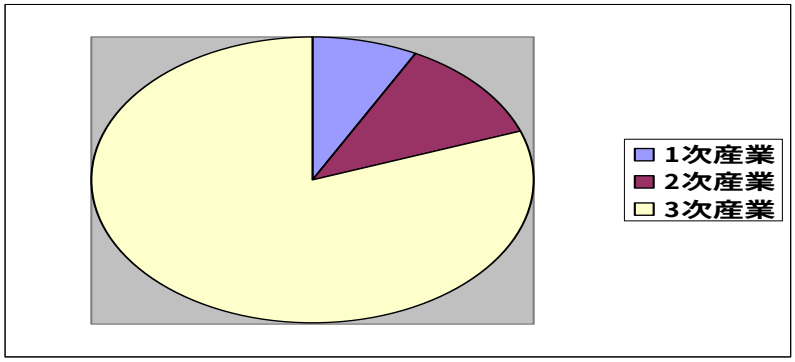
総面積の９４％を森林が占める占冠。林業は、農業と共に村を支える基幹産業としての役割を果たしてきた。現在も大切な森林資源を守るため、除間伐など様々な取り組みがなされている。

6. 産業別人口

産業別人口を見てみると三次産業が最も発達しているのが分かる。占冠はリゾート地として発展していきているからであろう。ところが一方、一次産業・二次産業の割合は低い。通常の産業は、一次産業→二次産業→三次産業と移り変わることから、一次産業や二次産業の就職者の割合の減少は、三次産業の発展を裏付けていることになる。

しかし、占冠は元々牧畜や林業の村である。その人口の割合が極端に少ないのは、やはり農業が全体的に衰えているからであろう。

グラフ４　産業別人口



7. 農業

7.1　農業の概要

森林が 70%を占め、自然立地条件を活かし観光地やアウトドア・フィールドとして急速に進展している。農耕地 605ha と少ないが、酪農、肉用牛の振興が図られ、近年、施設園芸も少しずつ導入されている。また、恵まれた自然環境、資源を活かし、山菜等の原料を加工して地域特産物として地場産業の推進に努めている。

7.2　農業の推移

表 6 から、占冠村は特に牛の飼養頭数が多いことがわかる。肉用牛は年々飼養頭数が増加の傾向にあり、肉用牛の飼育が盛んに行われていることが推測される。一方、乳用牛は年々減少傾向にあるが、依然として高い飼養頭数を誇っている。
また馬は 2000 年、鶏は 2001 年を境に爆発的に飼養頭数が増加している。両者とも飼養頭数が 0 もしくは 0 に近づいてきたときに増加している。農業を活性化させようとする意図が読み取れる。

表 2　農業の推移

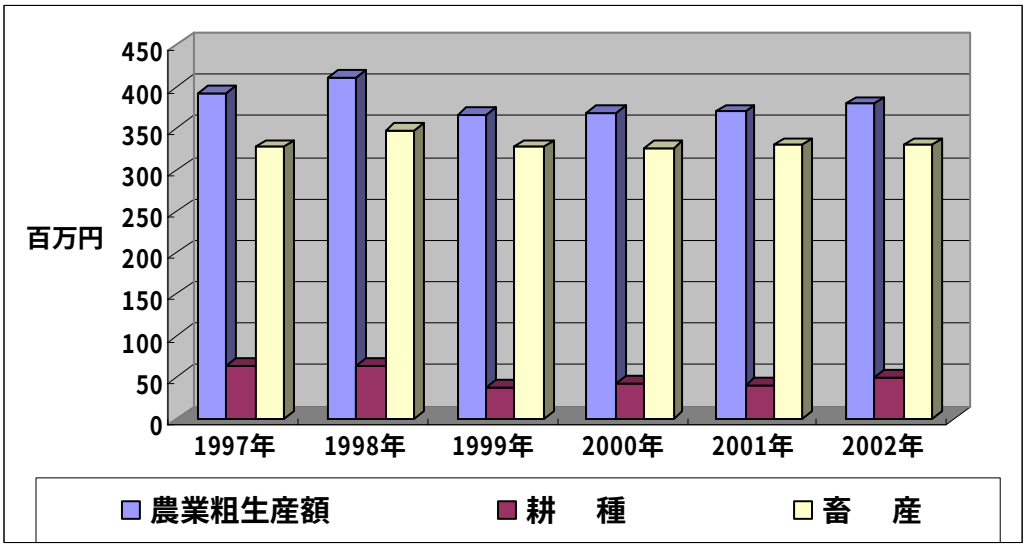
区　　分		1987 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年
家畜飼養頭数	肉　用　牛	318 頭	345 頭	345 頭	348 頭	432 頭	447 頭
	乳　用　牛	745 頭	697 頭	706 頭	605 頭	654 頭	618 頭
	馬	2 頭	―　頭	―　頭	43 頭	71 頭	78 頭
	採　卵　鶏	15 羽	10 羽	90 羽	2 羽	200 羽	220 羽

出展：占冠村公式 HP

7.3　農業粗生産額

下のグラフから読み取れるように占冠村では畜産が盛んであり、農業粗生産額の大半を占めている。そして安定した数字をたたき出している。耕種は全体に対し割合は少ないものの、僅かではあるが近年上昇傾向にあることがわかる。耕種に力を入れ始めている証拠である。　全体的に 1997 年、1998 年が最も盛んに生産されていた。

グラフ５　農業粗生産額の推移



8.　観光

１）アルファリゾート・トマム

年間を通してリゾートライフを満喫できる本格的なリゾートエリア。広大なエリア内にはシンボルのザ・タワーを含むホテル群を中心に、様々なコースが楽しめるトマムスキー場、自然の地形を活かしたゴルフコースのほか、水の楽園ヴィズスパハウス等がある。また、安藤忠雄氏設計の水の教会では年間を通して結婚式が行われている。さらに、自然を体験するアクティピティも四季を通して充実。冬はガイド付きで新雪を楽しめるオフピステツアーと、イルミネーションが幻想的なアイスドームヴィレッジ、春から夏にかけては山菜ハイキングやフィッシングなどのプログラムが人気を集めている。

２）物産館

ＪＲ石勝線「占冠駅」前にある占冠村物産館。
１階は村内一の商品数を誇るお土産品店と、２階はレストランと郷土資料室になっている。

３）湯の沢温泉

山間の緑を背景に、国道２３７号線沿いに建つ湯の沢温泉。
　温泉の泉質は食塩泉。冷え性、慢性皮膚病、筋肉痛疲労回復、慢性婦人病などに効果がある。

４）赤岩青巌峡

赤、青などの奇岩・巨岩で織りなす自然の造形が美しい赤岩青巌峡。爽やかな清流と、春はツツジやコブシ、夏は鮮やかな緑の木々、秋は色彩豊かな紅葉など季節ごとに移ろう景観は見事である。

赤岩青巌峡の中心を流れる清流「鵡川（むかわ）」は、釣りはもちろん北海道でも有数のラフティングのメッカとして人気がある。また、あちこちに巨岩が点在しているため、ロッククライミングも盛んに行われている。

５）イトウ・アイリス・ガーデン

国道 237 号線沿いにある「イトウ・アイリス・ガーデン」

新千歳空港方面から車で占冠・富良野方面へ向かう時は必ずこの前を通ることになる。

花を愛し、自然を愛し、ついでにお金も愛する気のいいヒゲのおじさんが皆が来るのを待っている。

参照 HP

・占冠村 - Wikipedia：http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8D%A0%E5%86%A0%E6%9D%91

・占冠村公式ホームページ：http://www.furano.ne.jp/shimukappu/home.html

・わがマチ・わがムラ～市町村の姿～：http://www.toukei.maff.go.jp/shityoson/index.html